〔曲 名〕In Riva al Leno

　レノの河岸にて

〔曲 種〕marcia

〔作曲者〕Antonio Pocher

　　アントニオ・ポーケル

〔編 曲〕

本曲作者に就いても極め難い。

本曲の出版は1914年7月トリーノのイル・マンドリーニ誌上に発表せられたものであるが、

この外に同所からDeva mazurcaとVilla Monte Engloの二曲が発表せられただけで

イル・プレツトロ、イル・コンチェルト、マンドリニスタ・イタリアーノの何処にも見出せない。

編成も本曲のみが四部で他は二つのマンドリンとギターの三部合奏であるのでイタリアでも初期の人に属する。

本曲をこの百曲選に載せたのは、

合奏技術を斯うしたところから徐々に積み上げてゆく初期の段階に適当なもので併せて曲想が美しいので採り上げた。

マンドリンを手にして一年も経ない人が無理な曲に取組むのを見ているとこうした事を痛感する。

Reno河はボローニアの近くを流れアドリア海に注ぐ著名な河であるが

Lenoはロンパルディアの一村落近くをポー河の支流がアルプスの水を運んでいるので此処を指すのであろう。

1970年７月20日発行

イタリアマンドリン百曲選第７集より